

*彗星 1968c (Comet Honda) のフィルム 2 コマ収蔵

アーカイブ室新聞第627号(2012年8月3日)に「彗星 1968c の Plate (Comet Honda by Honda) 収蔵」という記事がある。これは1968年7月23日の写真乾板であるが、今回のフィルムは7月7日に撮影されたものである。東京天文台新天体係に送られてきた封書が写真1である。速達で75円の切手が張ってある。これも歴史であろう。

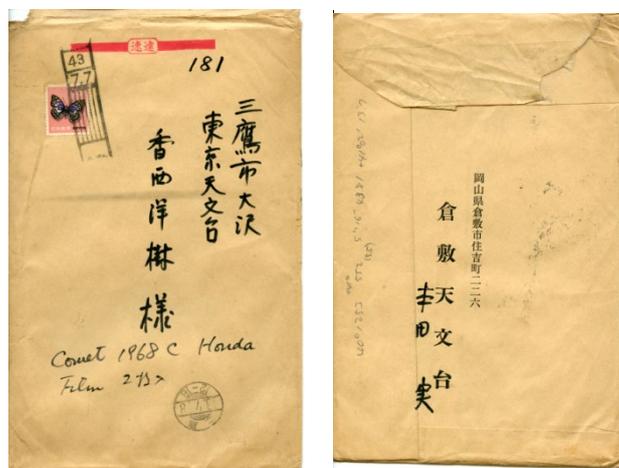


写真1 本田氏からの封書

封筒の中には、手紙、プリントした星野写真1枚、ブローニ版ネガフィルム2枚が入っていた。愛用のエルマジーという望遠鏡で2枚露出したが写っていないので、フジナー300mm f-4.5、トライXで副として撮影したものでそれらしいものが写っているがピントが甘いと書かれている。写真2がプリントの当該領域である。



写真2 彗星らしき像が写っている

撮影座標、及び露出時間は写真3にあるように $\alpha : 5^{\text{h}}08^{\text{m}}$ 、 $\delta : +40^{\circ}$ 、1968年7月7日の、3時28分～3時37分、3時38分～3時45分の2回である。



写真3 撮影天域と露出時間

同封されていたプリントは2回目の露出のものである。このプリントの全体が写真3.



写真4 彗星状天体の部分を拡大したもの

写真 3 は、ネガの彗星状の天体部分を引き延ばしたもので、送られたフィルムには当該領域を示す書き込みがある（写真 4）。プリントはこの書き込みをする前のものである。



写真 4 フィルムには書き込みがあった。

写真 4 の上部の明るい天体は η Aur である。これらはコメットハンターであった本田氏と東京天文台の新天体発見交信記録である。

これらアーカイブ室新聞の記事にお気づきのことがあれば、編集者中桐にご連絡いただければ幸いです。中桐のメールアドレスは、arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp